

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		一般小売店〔菓子〕 （総務担当）	・特売日の消費は意欲的である。	
		コンビニ（店長）	・来客数、買上点数が増えている。客の様子に以前よりゆとりを感じる。	
		衣料品専門店（経営者） 観光型旅館（経営者）	・最近の低気温、もしくは、賞与の増額のため、以前のムードとは随分違う感じがする。今後も好状態が続くと考える。 ・昨年は大河ドラマの影響はさほどなかったが、ドラマも2年目に入り、春先の予約状況は昨年より良い。	
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街内の空き店舗の多くが新店オープンしているが、開閉店のスパンが短く、淘汰が激しい。依然、低いレベルでのせめぎ合いが続いている。	
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・政治がしっかりしていないと経済も安定せず、先行きが不安である。	
		百貨店（営業担当）	・来客数については年初に比べると下げ幅が縮小している。売上については、相変わらず宝飾品等の高額品の動きが少ないが、ファッション関連、ブランド商品群については下げ幅が縮小している。その他、クリスマス商戦は比較的好調に推移した。この動きが今後も続くことを期待する。	
		百貨店（販売促進担当）	・セール期間に入るが、客単価は下がり、買上点数増加の見込みもない。このまま苦戦状態が続く。	
		スーパー（企画担当）	・今後も競合店の出店予定があり、客の買い回りがさらに進む。	
		スーパー（財務担当）	・閉塞状態を打開する施策が見当たらない。	
		スーパー（企画・営業担当）	・今冬は、気候要因により、売上面は好調である。しかし、春以降はその反動が予想される。	
		コンビニ（総務）	・来客数が改善する見込みは薄い。	
		衣料品専門店（経営者）	・政治が不安定で、経済対策が不透明である。	
		衣料品専門店（総務担当）	・身の回りに良いニュースが少なく消費マインドが低迷している。顧客の財布のひもは依然固く、短期的に改善するとは思えない。また、セール待ちの客が多く、ますます薄利の状況が強まっていく。	
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー購入補助金制度終了後、新車販売台数が大幅に落ちている。需要を先取りしているため、回復時期がいつになるか分からない。	
		乗用車販売店（営業担当）	・企業業績は不透明であり、個人の購買意欲も変わらない。今後、3月の企業の決算があることから、春の需要期に期待したい。	
		一般レストラン（経営者）	・エコポイント獲得のため大きな出費をしたため、もしくは、景気の先行きが見えないため、消費者は食費関連の出費を控えている。12月の売上高はかなり悪い。	
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・少し持ち直してきたが、現状維持の範囲内である。	
		通信会社（企画）	・アナログ停止・デジタル化など、既存の材料しかないため、現在の状況が続くであろう。	
		通信会社（支店長）	・キャンペーン等により一時的に販売量は上向いてはいるものの、今後の状況は予断を許さない。	
		観光名所（職員）	・円高の進行や、不安定な社会情勢のため、すぐに景気が良くなるとは思えない。	
		住宅販売会社（従業員）	・商談数、受注量ともに、先行きは横ばいである。	
		やや悪くなる	商店街（代表者）	・内需産業・中小零細企業にとって、厳しい環境が続く。
			商店街（代表者）	・人の動きが鈍く感じられる。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）		・今まで、高速道路の終点に立地していたため恩恵があった。しかし、3月に高知自動車道が中土佐ICまで伸びることから、少なからず影響が出ると思う。	
	一般小売店〔乾物〕（店員）		・良くなる根拠が見当たらない。	
	百貨店（売場担当）		・今は、防寒や迎春のために支出しているが、正月を過ぎると、必要なものしか買わない傾向が強まる。	
スーパー（店長）	・消費者は普段は節約し、「はれ」の日にはお金を使うという傾向が顕著である。年末も過ぎたことから、消費者は節約傾向になると思われる。			

	スーパー（店長）	・地上デジタル放送への切替え時期が迫っているため、テレビなど電化製品への出費が多くなる。一方、食品への出費は減るであろう。また、扶養控除等がなくなるため、負担増の世帯は、食品の購買力が低下する。	
	スーパー（統括担当）	・雇用面、収入面の不安が続き、加えて、政治の先行きの不透明感もあることから、なかなか消費は向上かない。	
	衣料品専門店（経営者）	・企業の業績回復など、消費を刺激する材料が見当たらない。	
	衣料品専門店（副店長）	・客の財布のひもは固くなっており、服に対する必要性も減ってきている。この様子なら、春物が入ってきて、必要な時にしか買わないであろう。	
	乗用車販売店（従業員）	・全体的な景況は先行き不透明である。雇用問題など、個人消費がまだまだ悪くなる要素がある。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・12月は、お歳暮・正月用がよく売れているが、その反面、1～3月は売上が下落してくるであろう。	
	旅行代理店（支店長）	・4月以降の高速道路料金値下げによって、公共交通機関の利用がますます減少する恐れがある。ひいては、国内旅行の「安・近・短」傾向に拍車がかかるであろう。	
	タクシー運転手	・賞与カットや給料の低下を嘆く客が多い。	
	競艇場（職員）	・例年、1月は、正月レースがあるため財布のひもが緩む傾向にある。しかし、最近の傾向を見ると、それも単発に終わってしまう懸念がある。ここ数か月間、1日当たりの売上・月間売上ともに前年比10～30%減少していることから、2～3か月先も減少傾向が続くと思われる。	
	美容室（経営者）	・所得控除見直しなどの税制改正によりさらに節約志向が強くなりそうである。	
	設計事務所（所長）	・既存の事業用地が数多く売りに出されている。	
	設計事務所（職員）	・補正予算に期待していたが、公共事業関連の予算規模は小さいものとなった。そのため、年度末にかけて、一段と低価格での受注競争が激しくなる。手持ちの仕事量は底をつき、新規受注量も減少する。また、受注しても採算性の低い業務となるため、景気はさらに悪くなる。	
悪くなる	家電量販店（店長）	・今後は春の異動に伴う独身者向け家電の需要等で、売上も見込まれるが、売り込みの家電としてはテレビが主体であり、総合的に見ても、テレビ・エアコン・冷蔵庫のエコ3商品が伸び悩み、非常に厳しい状況に陥ると思われる。	
	住関連専門店（経営者）	・全体の景気が良くないと、販売量は伸びない。	
	都市型ホテル（経営者）	・先行きの予約状況は悪い。今後も、低単価、買い控えといった傾向が続く。	
	タクシー運転手	・例年、地元水産業者の1～2月の水揚げ量は、年末に比べぐっと落ちる。今年は、例年より落ち込みが大きい予想である。	
	ゴルフ場（従業員）	・現在の予約状況を見る限り、予約状況はやや悪い。客数、客単価も下落しており、今後も非常に厳しい状態が続く。	
企業動向関連	良くなる	-	
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・1月以降、商品の一部に値上げを要請するため、受注量が減少する心配がある。しかし、概ね順調に推移すると考える。
		通信業（営業担当）	・最近、株価低迷や円高傾向に改善の予兆が出てきており、そのためか、金回りが良い人が増えた。年末年始という時期もあり、彼らに食事会、飲み会に誘われる機会が増えている。
	不動産業（経営者）	・近年、各地域からの注文が来ており、特に東京からの注文が増加傾向にある。まだ確実とは言えないが、不動産業界も底であった状態から、やや動きつつあるように思われる。	
変わらない	食料品製造業（従業員）	・受注価格の下落が続き、販売量の増加もさほど見込めない状況下で、今後、景気が好転するとは思えない。	
	木材木製品製造業（経営者）	・業界全体が前年比、若干プラスで動いている。マンション・アパートは3月頃にピークとなる。戸建て・分譲住宅は現状の水準が続く。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・年末までにある程度の出荷を終え、1、2月は、稼働日数も少なく、年末の出荷の反動が伴うことから、落ち込むものと思われる。前年度は大変悪かったため、今年度は少し良くなるのではないかと思う。	
	建設業（経営者）	・変わる要素が全く見当たらない。	
	通信業（部長）	・新規投資案件に対する顧客企業の対応はあくまで慎重であり、具体的なコストメリットがないと踏み込まない。消費者需要の増加がなければ、このような企業の姿勢は今後も続く。	

		広告代理店（経営者）	・今年度末、自動車関連業者からの広告受注は確保している。しかし、その他の業者は、業績不振のため広告費を削減しているところが多い。
		広告代理店（経営者） 公認会計士	・冬場の繁忙期はさほど大きな変化はないと思う。 ・設備投資に対して消極的な経営者が多い。また、将来の資金繰りや売上が伸びない点を懸念している経営者も多い。今後も景気低迷状態が続くと考える。
やや悪くなる		鉄鋼業（総務部長）	・円高の影響により、販売先が中国・韓国・ドイツ等との価格競争で苦戦している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・家電エコポイント制度の終了により、消費の低迷がさらに深刻になる。
悪くなる		建設業（総務担当）	・最近、材料費の大きなウエイトを占めている鋼材の値上がりが見込まれている。このため、資材手当が終わっていない工事については赤字が懸念される。
		輸送業（統括）	・客先が商品をストックせず、必要な分だけ注文するため荷動きが悪い。この傾向が年々強くなっている。
		輸送業（支店長）	・荷主の多くは、中国製品に押され生産量が低下している。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業部長）	・各自治体の緊急雇用対策予算が具体的に動き始める。ただ、人材派遣事業自体は厳しい。
		求人情報誌制作会社（従業員）	・4月に向け求人数が見込める。
		職業安定所（職員）	・企業の生産活動が上昇傾向にあり、フル操業への期待が出てきた。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率が先月より0.06ポイント上回った。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新卒向けの求人の他、ハローワークの一般求人でも応募可能な求人が増加傾向にあり、内定率の改善が予想される。
	変わらない	職業安定所（職員）	・円高傾向がこのまま続くと、製造業はさらに厳しくなり、それに耐えられなくなる企業が増える。
やや悪くなる		人材派遣会社（営業担当）	・年度末にかけ、受注が少なく不安を感じる。
		求人情報誌制作会社（編集者）	・大手就職サイトのサービス水準は、この数年でほぼ同レベルになってきた。今後は価格競争に陥ることが予想される。大手の代理店である当社も、何の対策も打たなければ、利益が減少するため、厳しい環境が待ち受けている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・エコカー購入補助金制度終了後、カーディーラーが次の対策に乗り出すことを期待したいが、先行き不透明である。観光面では、龍馬伝効果がなくなるためもはや特需は望めない。このように、明るい話題がない。
		民間職業紹介機関（所長）	・賞与を減少、又は全額カットする企業が増えている。
悪くなる		-	-